

# 有害プランクトン情報

(令和7年度 - No. 2)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合漁場 5月 第1回 内湾(8地点) 5/7 内房(7地点) 5/7
- 5月 第2回 内湾(8地点) 5/22 内房(7地点) 5/19
- 貝類漁場内 九十九里地区 5/12, 21 (生産技術研究室が担当)
- 千葉北部地区 5/12, 22, 29 木更津北部地区 5/12, 15, 27, 29
- 木更津南部地区 5/13, 27 富津地区 5/ 1, 19, 28

## 東京湾(内湾)

### 【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。  
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- 赤潮(透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) はみられませんでした。

### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

#### 1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

#### 2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場および貝類漁場内でディノフィシス アキュミナータが確認されました。5/7 のアクア北の沖合漁場でやや高い密度、5/22 のアクア北・船橋・千葉灯標の沖合漁場で高い密度でした。
  - ・ 5/1 (貝類漁場) 富津地区 密度は 0.25 細胞/mL
  - ・ 5/7 (沖合漁場) 内湾全域 最高密度はアクア北の 8.10 細胞/mL
  - ・ 5/12 (貝類漁場) 千葉北部地区 密度は 3.10 細胞/mL
  - ・ 5/13 (貝類漁場) 木更津南部地区 密度は 0.10 細胞/mL
  - ・ 5/15 (貝類漁場) 木更津北部地区 密度は 3.25 細胞/mL
  - ・ 5/19 (貝類漁場) 富津地区 密度は 0.60 細胞/mL
  - ・ 5/22 (沖合漁場) 内湾全域 最高密度は千葉灯標の 15.45 細胞/mL
  - ・ 5/22 (貝類漁場) 千葉北部地区 密度は 13.2 細胞/mL
  - ・ 5/27 (貝類漁場) 木更津南部地区 密度は 0.40 細胞/mL
  - ・ 5/28 (貝類漁場) 富津地区 密度は 0.15 細胞/mL
  - ・ 5/29 (貝類漁場) 千葉北部地区 密度は 1.10 細胞/mL
- 沖合漁場および貝類漁場内でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
  - ・ 5/22 (沖合漁場) 富津 密度は 0.05 細胞/mL

#### 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## 東京湾(内房)

### **【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮はみられませんでした。

### **【貝毒原因プランクトンの出現状況】**

#### 1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

#### 2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
  - ・ 5/7 (沖合漁場) 富浦を除く内房全域 最高密度は富津南の 1.20 細胞/mL
  - ・ 5/19 (沖合漁場) 勝山沖・岩井を除く内房全域 最高密度は大貫の 1.35 細胞/mL
- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
  - ・ 5/7 (沖合漁場) 富津南 密度は 0.05 細胞/mL
  - ・ 5/19 (沖合漁場) 富浦 密度は 0.05 細胞/mL

#### 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## 九十九里海域(旭〜一宮沖貝類漁場)

### **【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。

### **【貝毒原因プランクトンの出現状況】**

#### 1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

#### 2 下痢性貝毒原因プランクトン

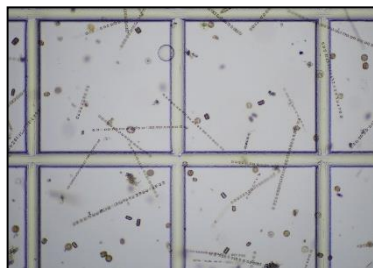
- 貝類漁場内でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
  - ・ 5/12 (貝類漁場) 九十九里地区 密度は 0.10 細胞/mL

#### 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

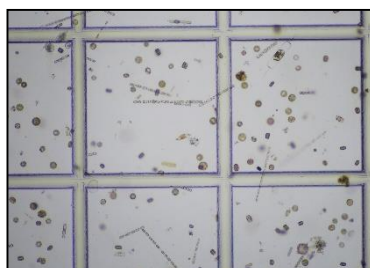
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

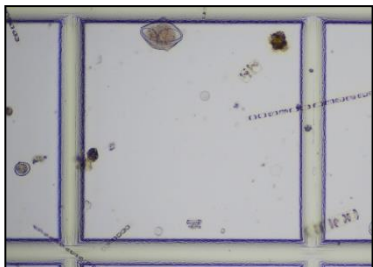
5/7	内湾・内房	珪藻 渦鞭毛藻	コシノディスカス属, スケルトネマ属 ジャイロディニウム属 など
5/19	内房	珪藻 渦鞭毛藻	コシノディスカス属, キートセロス属 ジャイロディニウム属 など
5/22	内湾	渦鞭毛藻  珪藻	ジャイロディニウム属, プロトペリディ ニウム属, ヘテロカプサ属 レプトシリンドラス属, スケルトネマ属 など



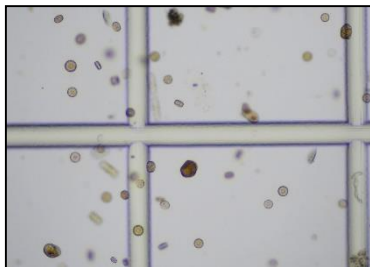
リゾソレニア属など  
(5/7 船橋)



コシノディスカス属など  
(5/7 富津南)

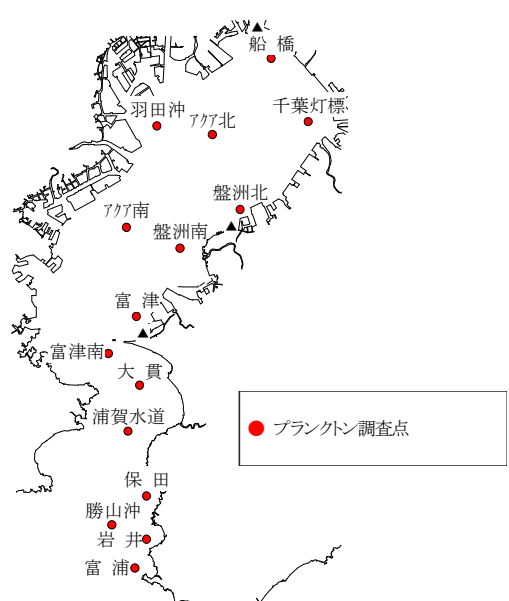


プロトペリディニウム属など  
(5/22 盤洲南)



ジャイロディニウム属など  
(5/19 大貫)

調査点 (沖合漁場)



調査点 (貝類漁場)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp